



**チビスロウ**

4/1より  
販売開始

『チビスロウ 大雪山2017』  
A5判 オールカラー P52  
324円(税込み)



クナウマガジン  
新刊のご案内

northern style  
**スロウな旅北海道**  
2017年春、4冊発売予定!



4/25より  
販売開始

『スロウな旅 北海道 vol.4 西エリア』  
『スロウな旅 北海道 vol.5 東エリア』  
B5変形 オールカラー P144 1,000円(税込み)



5/1より  
販売開始

『ニセコ 夏のニセコを満喫する旅』  
『知床 壮大な自然を体感する旅』  
B5変形 オールカラー P112 1,296円(税込み)

待ちに待ったお出かけシーズンの到来! 今年も、事前の情報収集や着いてからのガイドブックとして活用してもらいたい旅の本ができました。エリア別冊の表紙には、ボクが紛れているので見つけてみてね。



スロウ公式キャラクター  
こぞう

ソーゴ印刷 社員紹介 Vol.1  
この春入社!  
「思いをたくさんの人に届けていきたい!」

山を眺めたり、山のぼりを楽しんだり、「たき火」の修業をしたり…。とにかく森が好きすぎるという、ユニークな趣味を持つ期待の新入社員「立田さん」に突撃インタビューを行いました!

小学生の頃からボーイスカウトに参加していたことが要因となっているのか、「高校生の時に森が好きだと自覚するようになった」と話す立田さん。教育大函館校に進学しますが、どうしても森や木の勉強がしたくて岩手大農学部に入部し、森林生態学を学びました。そしてここで立田さんは、ソーゴ印刷が発行する「northern style スロウ」と出合います。「北海道にはこんな素敵な人たちがいて、こんな素敵な雑誌で紹介されているんだ!」と心の底からわくわくし、北海道に帰ってくるのが楽しみになりました。大学を卒業後、黒松内町のブナセンターで環境教育指導員として働くことになった立田さんでしたが、ここにもスロウのバックナンバーがたくさん設置してありました。次々と読んでいくうちに、スロウを作る一員になりたいという思いが募り、晴れて今年の春からソーゴ印刷に入社することとなりました。

当面の目標は、「早く独り立ちして、記事を書くこと(仕事)」と、「トムラウシに登ること(プライベート)」という立田さんは最後に、「自分が体験し感じたことを、文字にして伝えたい。そしてそれがたくさんの人たちの楽しみになってもらえたら、こんなに嬉しいことはないです」と話してくれました。自然を愛してやまない立田さんらしい感性が、スロウの誌面に反映されることが、今から楽しみです!

**特技はたき火、**  
真冬でも、文化焚き付けを使わずに火を熾すことができます!

**趣味は山・森です。**  
登るのも大好きですが、眺めるだけでも大満足。カッコいい山や、安心感のある山など、山と言えども様々です。山や森などに興味がある方は、ぜひお声がけください!



たつた  
**立田** かなな  
**菜那 (25歳)**  
出身地: 東神楽町  
所属部署: クナウマガジン  
(スロウ編集部)

商品案内

- 月刊しゅん
- kerankeran
- ぺこぞう
- しゅんプラス  
エリアマーケティング事業  
モニタリング/アンケート/  
イベント/座談会 他

- クナウマガジン  
northern styleスロウ  
スロウな旅 北海道  
クナウムック  
訪ねて楽しい雑貨屋さん  
スロウなカフェを訪ねて  
北海道移住の本 他  
市町村版チビスロウ

- 動画コンテンツ企画・制作  
AR(拡張現実)システム  
企業PR動画  
DVD制作
- WEBコンテンツ企画・制作  
ホームページ制作  
スマートフォン用サイト制作  
システム開発

- 印刷・自費出版・各種記念誌  
商業印刷  
会社案内/ポスター/パンフレット/  
DM/チラシ 他  
ビジネスフォーム(連続帳票)  
パッケージ  
包装紙/紙袋/製函  
自費出版・記念誌  
自分史/俳句・短歌集/写真集  
/家系図/社史/記念誌 他



月刊しゅん編集部  
TEL.0155-34-2233



クナウマガジン (スロウ編集部)  
TEL.0155-38-4188



しゅんプラス編集部  
TEL.0155-34-1283



ぺこぐろ編集部  
TEL.0155-34-2233

デザイン北海道事業部  
TEL.0155-34-1281  
WEB制作部門  
TEL.0155-34-1281  
動画制作部門  
TEL.0155-38-1281

〒080-0046  
北海道帯広市西16条北1丁目25  
TEL.0155-34-1281 FAX.0155-34-1287  
http://www.sogo-printing.com  
E-mail: info.sg@sogo-printing.com



カメラマン  
田中良治

■津別峠展望台 (津別町)  
弟子屈と津別を結ぶ屈斜路津別線は、1年のうち5ヵ月間だけ通行できる峠道。その頂上の展望台からの景色はまさに絶景。夏場の早朝には、雲海に包まれた屈斜路湖の向こうから昇る朝日が見られるかも。



■国道392号線 (白糠町)

白糠ICに向かう道。羊牧場やレストラン、ソフトクリームがおいしいチーズ工房、ブルーベリー園が点在しています。夏～秋は特産品「鍛高譚」の原料になるシソ畑が濃紫色に染まり、かなりフォトジェニックです。自転車で走り抜けたら最高!



スロウ編集部  
片山静香



■ノーザンホースパーク (苫小牧市)



カメラマン  
菅原正嗣

「人と馬と自然」をテーマにした体験型の公園。乗馬をしたり馬車に乗ったり、ホースシュースタンド作り体験ができるほか、ポニーのショーがとても可愛いです。また、周りの景観も美しいのでオススメです。

## もう一度訪れたい あの場所

編集者&カメラマンに聞きました

— 春・夏 ver. —

「northern style スロウ」や「スロウな旅北海道」などの出版を手がけるクナウマガジン。取材はもちろんプライベートでの旅行も含めると、北海道のあらゆる場所に足を運んでいるといっても過言ではありません。

そんな編集者たちと、取材に同行するカメラマンたちが選ぶ「もう一度訪れたいスポット」。さすが北海道のエキスパート集団、なかなかツウなセレクトです。



■cafe mille feuille (カフェ ミルフィーユ) (別海町)

甘いものはあまり好まないのですが、ここのスイーツは別格。オーナーパティシエがレストランのデザート担当だったことから、店内では血盛りデザートを食べることができます。ざくつ、ふわっとした食感のミルフィーユをぜひ。



スロウ編集部  
鎌田暁子



■名水うどん (のさん) (京極町)



スロウ編集部  
尾崎友美

名水の里に名うどん屋あり! うどんに目がない私がすっかり射止められてしまったうどん屋さんです。圧倒的においしい水と、こだわりのだしがベース。とにかく明るい店長さんもいい味出しています。ちなみに十勝では池田町の麦笑が大好きです。



■美幌峠 (弟子屈町)

私のおすすめは夏的美幌峠。ここは展望台が有名ですが、実は他にも良い場所があるのです。すぐ近くにあるパラグライダーの発着場から見える景色がこの写真。視点を変えると新しい魅力を発見できるかも。



カメラマン  
東藤亮佑



■帯広動物園の野草園 (帯広市)

毎年5月くらいに必ず訪れる場所です。ごちんまりした敷地内に、カタクリ、オオバナノエンレイソウ、ニリンソウなどいろんな花が咲きます。生命力いっぱいの姿に、いつもエネルギーをもらっています。



スロウ編集部  
家入明日美